

食品リサイクル法に基づく「基準発生原単位(業種別)」及び「再生利用等実施率目標値(業種別)」 を達成した事業者(平成24年度・目次)

本事業者一覧について、食品リサイクル法に基づく定期報告(平成24年度分)において、

- ① 表3の食品廃棄物等の発生原単位(業種別)が、主務大臣が告示した業種別において定められている基準発生原単位を下回っていること
- ② 表10の食品循環資源の再生利用等の実施率(業種別)が「食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針」により設定された食品製造業・食品卸売業・食品小売業・外食事業ごとの再生利用等を実施すべき量に関する目標を達成していること
- ③ 表16の国が公表を行うことについての合意の有無において、「有」と記載いただいていること

の要件を満たした事業者を掲載しています。

(なお、①に基準発生原単位のない事業者は、②及び③の要件を満たした事業者を掲載しています。)

● 外食産業

・飲食店	1
食堂・レストラン	
居酒屋等	
喫茶店	
ファーストフード店	
その他の飲食店(ファーストフード店を除く)	
・持ち帰り・配達飲食サービス業	9
持ち帰り・配達飲食サービス業(給食事業者を除く)	
給食事業者	
・沿海旅客海運業	11
・内陸水運業	12
・結婚式場業	13
・旅館業	14

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	飲食店 食堂・レストラン

基準再生原単位 152kg/百万円、175kg/百万円

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	株式会社さわやか	売上高	19.6	kg/百万円	79.1	
2	株式会社 ヤマハリゾート	売上高	21.5	kg/百万円	100.0	弊社社員が月1回残飯発生量をまとめ委員会にて発表する。また年1回処分業者視察実施。
3	日本ヒルトン株式会社	売上高	23.1	kg/百万円	100.0	
4	株式会社マルヨシセンター	売上高	24.2	kg/百万円	80.7	
5	ユーレスト・ジャパン株式会社	売上高	25.7	kg/百万円	61.6	
6	ハーベスト株式会社	売上高	27.2	kg/百万円	56.2	社内報や社内ミーティング、更に進入社員教育で啓蒙活動を実施している
7	株式会社 丸江	売上高	29.5	kg/百万円	71.4	
8	株式会社 中村屋	売上高	34.2	kg/百万円	41.4	
9	西洋フード・コンパスグループ株式会社	売上高	36.0	kg/百万円	76.2	食品残渣を各事業所では発生原因別(食材ロス・販売ロス・賞味期限ロス・残飯)に計量し、発生原因を絞って対策を立て発生量減量に取り組んだ。
10	三重農協食品株式会社	売上高	44.5	kg/百万円	100.0	
11	株式会社 人形町今半	売上高	45.3	kg/百万円	47.8	本部にリサイクル委員会を設置した。
12	株式会社壱番屋	売上高	47.0	kg/百万円	40.7	
13	株式会社宮春	売上高	49.0	kg/百万円	47.8	豆腐工場で発生する残渣を分別し出来る限り肥料向けから飼料用に再利用するための指導を実施。
14	株式会社 日本レストランエンタプライズ	売上高	53.6	kg/百万円	41.7	
15	株式会社NECライベックス	売上高	56.0	kg/百万円	75.2	毎月、生ごみの削減実績を会議において報告
16	株式会社名鉄百貨店	売上高	56.2	kg/百万円	100.0	
17	株式会社アレフ	売上高	56.5	kg/百万円	83.3	

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	飲食店 食堂・レストラン

基準再生原単位 152kg/百万円、175kg/百万円

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
18	株式会社アール・ティー・コーポレーション	売上高	60.0	kg/百万円	66.6	
19	東京エアポートレストラン株式会社	売上高	61.6	kg/百万円	40.2	食品循環資源の再生利用率を高めるため、廃棄物の分別を推進している
20	康正産業株式会社	売上高	63.2	kg/百万円	43.5	地域での環境学習への参加
21	株式会社ホテルオークラ東京ベイ	売上高	63.9	kg/百万円	100.0	ビニール、紙など異物を極力排除して、分別の徹底化継続。
22	株式会社木曾路	売上高	65.1	kg/百万円	51.2	○食品残渣の分別徹底の為、定期的に店舗に臨店し指導しています。 ○再生登録事業所へ店舗の食品残渣収集運搬を基本とし新規委託事業所の情報収集・視察を行い食品リサイクル実施店の増加に努めております。
23	株式会社 ニューオータニ九州	売上高	65.5	kg/百万円	100.0	
24	株式会社横浜ベイホテル東急	売上高	65.6	kg/百万円	40.7	社内において、食品廃棄物分別の徹底と異物混入防止を関係セクションへ連絡書等で徹底
25	松山総合開発株式会社	売上高	66.9	kg/百万円	52.0	食品廃棄物等の減量方法及び再生利用等についての情報収集
26	株式会社broncoビリー	売上高	67.5	kg/百万円	45.5	・店舗別の食品リサイクル分別状況のランク付けや定期観察による食品循環資源分別精度の向上。・新規再生利用事業所の情報収集や視察・見学。
27	国際ホテル株式会社	売上高	68.1	kg/百万円	68.5	新規入社者に採用時、食品廃棄物分別の手順教育を実施。
28	株式会社札幌かに本家	売上高	68.9	kg/百万円	52.2	
29	株式会社 フライングガーデン	売上高	71.9	kg/百万円	49.1	各店舗の食品廃棄物の分別教育。昨年完成した自社工場の徹底分別を行うことで、再生利用率を上げる取組みを行った。
30	株式会社みづほ野	売上高	73.4	kg/百万円	49.7	ゴミの分別、生ごみの乾燥を進めた

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	飲食店 食堂・レストラン

基準再生原単位 152kg/百万円、175kg/百万円

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
31	株式会社ハイデイ日高	売上高	76.5	kg/百万円	40.1	平成20年度末より一部の店舗において食品廃棄物の分別収集・再資源化を開始し、工場においても食品再資源化量を増やした。
32	株式会社セブン&アイ・フードシステムズ	売上高	82.0	kg/百万円	40.6	本部スタッフの再生処理施設への見学を実施。店舗責任者会議等での説明(生ごみ分別の重要性と分別の徹底。廃棄物を削減させるための行為内容説明)
33	株式会社 横浜グランド インターコンチネンタルホテル	売上高	82.5	kg/百万円	100.0	昨年同様、生ごみの水切りや売り切れ残りのパンを従業員に販売し、ゴミの発生量と総重量の減少化を実施しています。
34	ジェイアール東海フードサービス株式会社	売上高	85.6	kg/百万円	63.5	
35	東京ビジネスサービス株式会社	売上高	86.5	kg/百万円	61.2	弊社社員に年1回、食品廃棄物に関する研修を実施
36	株式会社 八仙閣	売上高	90.1	kg/百万円	75.4	
37	株式会社 萬家	売上高	93.1	kg/百万円	56.3	生ごみ処理機を6店舗に設置した。
38	コーペーズ株式会社	売上高	93.3	kg/百万円	45.6	
39	株式会社ユニフード	売上高	93.9	kg/百万円	55.1	新規開店時を中心に、従業員への食品廃棄物分別教育を実施。
40	霧島酒造株式会社	売上高	102.8	kg/百万円	100.0	自社処理により焼酎粕、米・芋くずをメタン発酵処理し、発生したメタンガスを焼酎生産工程のエネルギー源として利用し、循環資源として活用している。また、乾燥設備において化石燃料を利用せず、発生したメタンガスを利用し、焼酎粕脱水ケーキを乾燥させ、家畜飼料の原料を製造している。
41	株式会社神戸屋レストラン	売上高	103.9	kg/百万円	43.1	前年実績や店舗の動向を勘案して生産量を調整すると同時に、製品ロスゼロを目標に当日の売り切り活動を強化しました。また、定期的に店舗に対して廃棄物処理にかかわる費用を明示することで、コスト意識や社会への影響に対する意識を高め、発生量の削減を目指すよう、指導しました。
42	株式会社えぼし	売上高	108.6	kg/百万円	58.6	

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	飲食店 食堂・レストラン

基準再生原単位 152kg/百万円、175kg/百万円

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
43	株式会社平田牧場	売上高	115.6	kg/百万円	50.9	
44	一般財団法人休暇村協会	売上高	115.9	kg/百万円	45.4	食品循環資源の再生利用等の促進のための研修会を年1回実施
45	株式会社 サンエー	売上高	122.7	kg/百万円	100.0	・賞味期限切れ等による、廃棄ロスの削減。再利用業者さんとの取組強化。
46	株式会社 坂東太郎	売上高	126.0	kg/百万円	54.3	エコ箸の全店導入。ロス管理の徹底。業務委託先の見直し。
47	有限会社 熊本なべしま	売上高	136.5	kg/百万円	54.9	

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	飲食店 居酒屋等

基準再生原単位 152kg/百万円

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	福留ハム株式会社	売上高	7.0	kg/百万円	50.0	
2	株式会社 きちり	売上高	30.1	kg/百万円	48.9	
3	SFPダイニング株式会社	売上高	42.8	kg/百万円	42.7	
4	株式会社 川徳	売上高	43.2	kg/百万円	67.7	新入社員や中途採用者の基礎研修で、環境教育を実施。環境保全の 全社活動で、廃棄物の削減と、分別・リサイクルを推進。
5	キリンシティ株式会社	売上高	49.9	kg/百万円	60.2	
6	株式会社嘉文	売上高	57.5	kg/百万円	99.8	食用油につきまして廃油を減らすため業者に回収を委託しています
7	株式会社ジェイアンドジェイ	売上高	69.7	kg/百万円	49.1	

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	飲食店 喫茶店

基準再生原単位 108kg/百万円

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	小田急商事株式会社	売上高	21.0	kg/百万円	81.2	循環資源再生業者(小田急フードエコロジーセンター)の担当者による排出量促進のための店舗巡回と指導、及び、出店先への食品循環資源の再生利用への取り組みを働きかけた。
2	株式会社Les Deux	売上高	34.8	kg/百万円	53.8	
3	株式会社プロントコーポレーション	売上高	49.1	kg/百万円	62.3	1、21年度よりチェーン本部指定の再生委託業者(太誠産業)を選定し直接契約できる店舗は契約。2、新規入居ビル(デベロッパー管理)のごみ処理が再生の推進が進んでいる。
4	株式会社イタリアントマト	売上高	50.7	kg/百万円	46.5	ショッピングセンター内の店舗においては、ショッピングセンターのリサイクル基準に応じた分別を実施している。
5	ジェイアール東海フードサービス株式会社	売上高	52.2	kg/百万円	53.7	
6	モロゾフ株式会社	売上高	85.6	kg/百万円	50.8	

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	飲食店 ファーストフード店

基準再生原単位 108kg/百万円

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	株式会社 ダスキン	売上高	54.2	kg/百万円	44.1	再生利用委託先の工場見学
2	株式会社 吉野家	売上高	56.9	kg/百万円	58.0	
3	株式会社 田部	売上高	59.5	kg/百万円	68.5	特にしておりません。今後はどのように再生利用等が出来るか検討し又、勉強してまいります。
4	株式会社 いちい	売上高	63.9	kg/百万円	77.5	廃棄物の分別を進め、食品循環資源として活用する事を促進
5	株式会社モスフードサービス	売上高	65.7	kg/百万円	51.8	
6	ファーストキッチン株式会社	売上高	66.6	kg/百万円	48.2	
7	株式会社ポールスター	売上高	75.3	kg/百万円	60.3	
8	株式会社さわやか	売上高	75.4	kg/百万円	60.2	
9	日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社	売上高	91.0	kg/百万円	59.5	再生利用処理を行っている委託先に対しては、年1回以上の視察を行い監視体制を強化するとともに、競合他社との連動によるリサイクルループづくりにも積極的に取組み、2010年度よりその仕組みをスタートし現在に至っている

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	飲食店 その他の飲食店

基準再生原単位 108kg/百万円

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位		再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組	
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位			単位
1	イケア・ジャパン株式会社	売上高	40.5	kg/百万円	68.7	弊社社員による再生資源化委託先への見学会

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	持ち帰り・配達飲食サービス業 (給食事業者を除く)

基準再生原単位 184kg/百万円

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	井筒まい泉株式会社	売上高	19.4	kg/百万円	52.1	各部門担当者を対象とした、再生利用委託工場の視察、またブランド豚を開発し、再生利用の飼料使用による食品循環ループ構築
2	株式会社 登利平	売上高	65.8	kg/百万円	67.0	
3	株式会社 人形町今半	売上高	73.1	kg/百万円	67.3	本部にリサイクル委員会を設置した。
4	株式会社梅の花	売上高	73.2	kg/百万円	62.9	
5	株式会社 吉野家	売上高	88.1	kg/百万円	69.6	

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	持ち帰り・配達飲食サービス業 給食事業者

基準再生原単位 332kg/百万円

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	株式会社ANAケータリングサービス	売上高	16.9	kg/百万円	100.0	環境への取り組みに関する、社員への教育・啓蒙活動の実施。積極的な食品循環ループの構築に向けた推進活動の実施。
2	栄食メディックス株式会社	売上高	41.5	kg/百万円	80.3	食品残渣を各事業所では発生原因別(食材ロス・販売ロス・賞味期限ロス・残飯)に計量して、発生要因を絞って対策を立て発生量削減に取り組んだ。
3	三菱電機ライフサービス株式会社	売上高	157.8	kg/百万円	67.5	再生利用未実施の事業所に対し、再生利用等の実施の近隣事業所を紹介、及び登録再生利用事業者の紹介、及び消滅型処理機等の紹介。
4	株式会社ジー・ワイ・フードサービス	売上高	171.6	kg/百万円	88.0	
5	メイフード株式会社	売上高	184.4	kg/百万円	100.0	
6	協同組合東部給食センター	売上高	192.3	kg/百万円	100.0	
7	桐生中小企業福祉事業協同組合	売上高	196.5	kg/百万円	100.0	
8	サンケータリング株式会社	売上高	242.3	kg/百万円	92.1	

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	沿海旅客海運業

基準再生原単位 設定なし

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
	該当なし					

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	内陸水運業

基準再生原単位 設定なし

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
	該当なし					

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	結婚式場業

基準再生原単位 0.826kg/人

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	株式会社 熊本ホテルキャッスル	客数	0.2	kg/人	100.0	
2	メルパルク株式会社	客数	0.3	kg/人	45.5	
3	相鉄ホテル株式会社	客数	0.4	kg/人	66.4	毎月 廃棄物の資源化状況を部門長会議へ報告実施
4	株式会社アターブル松屋	客数	0.4	kg/人	76.8	
5	熊本駅前ビル株式会社	客数	0.4	kg/人	49.3	
6	株式会社 ロイヤルパークホテル	来客数	0.4	kg/人	80.7	
7	松山総合開発株式会社	客数	0.6	kg/人	41.9	食品廃棄物等の減量方法及び再生利用等についての情報収集

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	旅館業

基準再生原単位 0.777kg/人

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	松山総合開発株式会社	客数	0.1	kg/人	53.8	食品廃棄物等の減量方法及び再生利用等についての情報収集
2	株式会社 西鉄シティホテル	客数	0.1	kg/人	73.7	社内では、環境委員会(年6回)社員全員参加の環境問題勉強会(年1回)を通じて、前年の成果を公表し、今後の行動目標、継続の大切さと共に何故やらなければならないかまでを説明して全員の意識の向上、喚起を促している。また、様々な団体のごみ処理施設を中心とした施設見学等に対応し、弊社の取組みが広く知られごみの減量に向けた取り組みが広く普及する事を願っている。
3	株式会社 ホークスタウン	客数	0.2	kg/人	100.0	食物残さと否食品の分別を徹底するように、従業員に指導し、食品循環資源のリサイクル率を上げる。
4	株式会社ホテルグランヴィア大阪	客数	0.2	kg/人	81.3	四半期に1回、各部署員による委員会を開催し、年度当初に設定したリサイクル目標設定へむけた取組を全社で共有し、推進を図っています。
5	株式会社ロイヤルホテル	客数	0.2	kg/人	73.0	関係する部署の従業員に対して、食品廃棄物の減量、並びに分別に関する指導や教育を実施。
6	株式会社 熊本ホテルキャッスル	客数	0.2	kg/人	100.0	
7	株式会社ホテル東日本	来館者数	0.2	kg/人	42.0	
8	株式会社 ニューオータニ九州	客数	0.2	kg/人	70.4	
9	株式会社ナゴヤキャッスル	客数	0.2	kg/人	100.0	各部署に配置した「ECOソムリエ」と称する環境サポーターを中心に食品リサイクルについての教育を実施。またISO14001の内部監査のヒアリングにも食品リサイクルについての設問を設け、特に調理部門への意識強化を図っている。
10	森トラスト・ホテルズ&リゾート株式会社	客数	0.2	kg/人	63.8	
11	株式会社名古屋東急ホテル	客数	0.3	kg/人	100.0	
12	株式会社 ホテル新潟	客数	0.3	kg/人	45.2	
13	株式会社ジェイアール西日本ホテル開発	客数	0.3	kg/人	71.3	

食品リサイクル法に基づく業種別の基準発生原単位及び再生利用等実施率目標値を達成した事業者一覧

年度	平成24年度実績
業種	旅館業

基準再生原単位 0.777kg/人

再生利用等実施率目標値 40%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率(%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
14	株式会社ホテル日航福岡	客数	0.3	kg/人	100.0	生ごみの分別、水切りの徹底及び回収業者からの異物混入などの報告からの現場指導
15	名古屋ヒルトン株式会社	客数	0.3	kg/人	64.1	従業員に対して、廃棄物のコストを明確に説明し関心を持たせる。(新規従業員に対してセミナーを実施)
16	ロイヤルパインズ株式会社	客数	0.4	kg/人	78.0	
17	相鉄ホテル株式会社	客数	0.4	kg/人	66.7	毎月 廃棄物の資源化状況を部門長会議へ報告実施
18	株式会社 ロイヤルパークホテル	来客数	0.4	kg/人	80.6	
19	一般財団法人休暇村協会	客数	0.5	kg/人	44.5	食品循環資源の再生利用等の促進のための研修会を年1回実施
20	熊本駅前ビル株式会社	客数	0.6	kg/人	50.8	